資料2

台風10号災害による社会的影響について

【岩手県】台風10号による道路関係の被災等状況

出典：社会資本整備審議会　道路分科会
第55回基本政策部会（H28.9.27）

○台風10号により岩手県内の直轄国道5区間、補助国道16区間、県道42区間で被災し、8月30日から通行止め。
　現時点では、県道5区間で通行止め（9月26日現在）。
○特に、盛岡市等内陸部から太平洋沿岸部に通じる東西軸（国道281号、国道455号、国道106号等）で
　道路崩壊など甚大な被害が多数発生。
○復旧までの間の広域迂回が発生するなど、災害時の道路ネットワークの脆弱性が明らかとなった。





国道281号：久慈市山形町下川井
土砂崩落：9/13より一般車両通行可



県道普代小屋瀬線：岩泉町安家
河川による道路崩壊
9/7に専門家が現地調査を実施





国道455号：岩泉町乙茂地区：道路崩壊
TEC-FORCEが道路啓開を実施し9/8より一般車両通行可

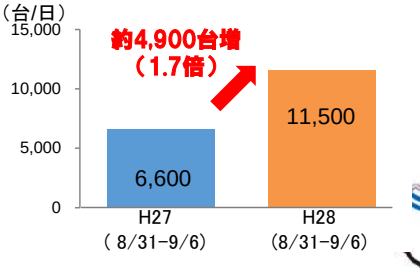




国道106号：宮古市蟇目：道路崩壊
TEC-FORCEが道路啓開を実施し9/10より一般車両通行可

【凡例】
- ⊗ 応急復旧作業中
- ⊗ 応急復旧済
- 高速道路（4車線）
- 高速道路（2車線）
- 事業中
- 国道（仮復旧済）
- 県道（復旧作業中）
- 県道（仮復旧済）

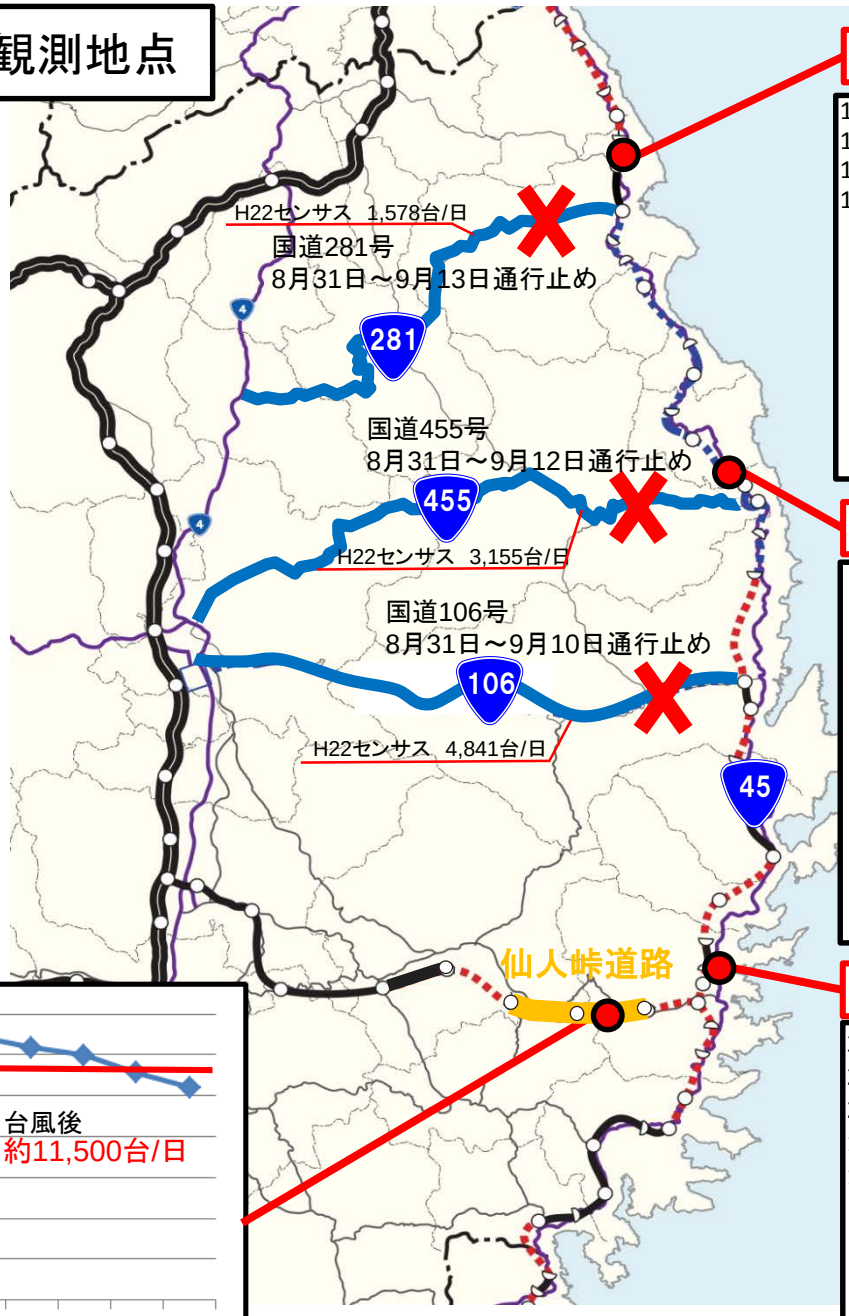
東北横断自動車道釜石秋田線　仙人峠道路



台風10号による三陸国道事務所管内の交通量変化

主要な三陸国道事務所管内の観測地点

国道106号、455号、281号の寸断により、迂回交通が国道45号や仙人峠道路（国道283号）に転換。

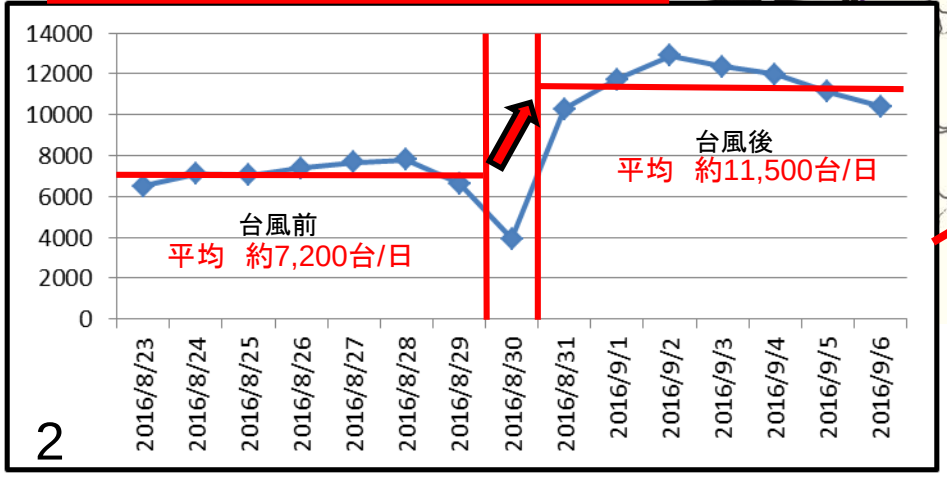


凡例

観測地（台/日）　台風後/台風前　（台風後－台風前）

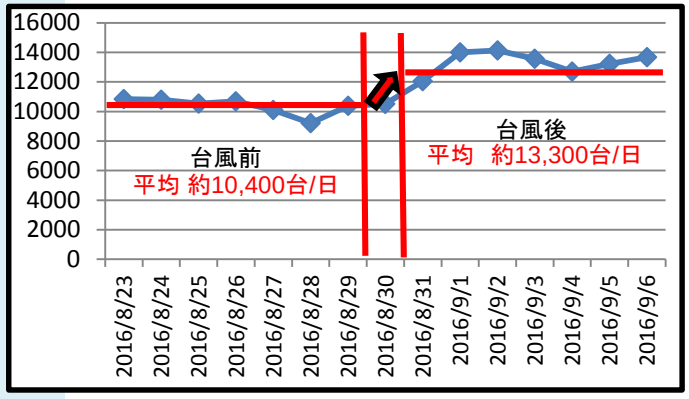
:観測地点

仙人峠道路（台/日）
1.60倍（約4,300台増）

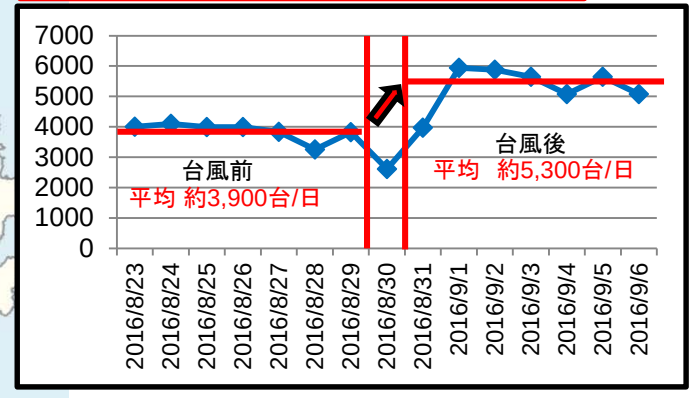


久慈道路

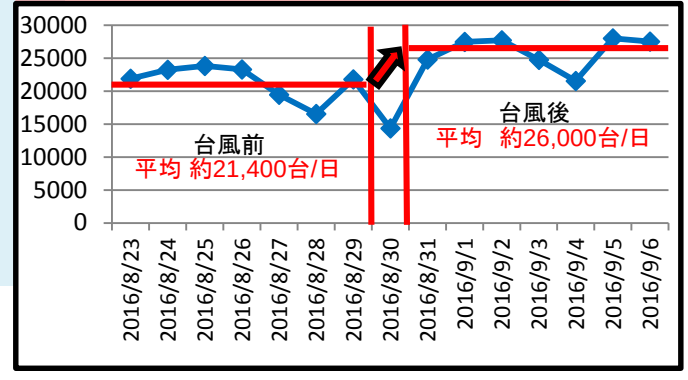
久慈湊町（台/日）1.28倍（約2,900台増）



田野畑（台/日）1.36倍（約1,400台増）



釜石（台/日）　1.21倍（約4,600台増）

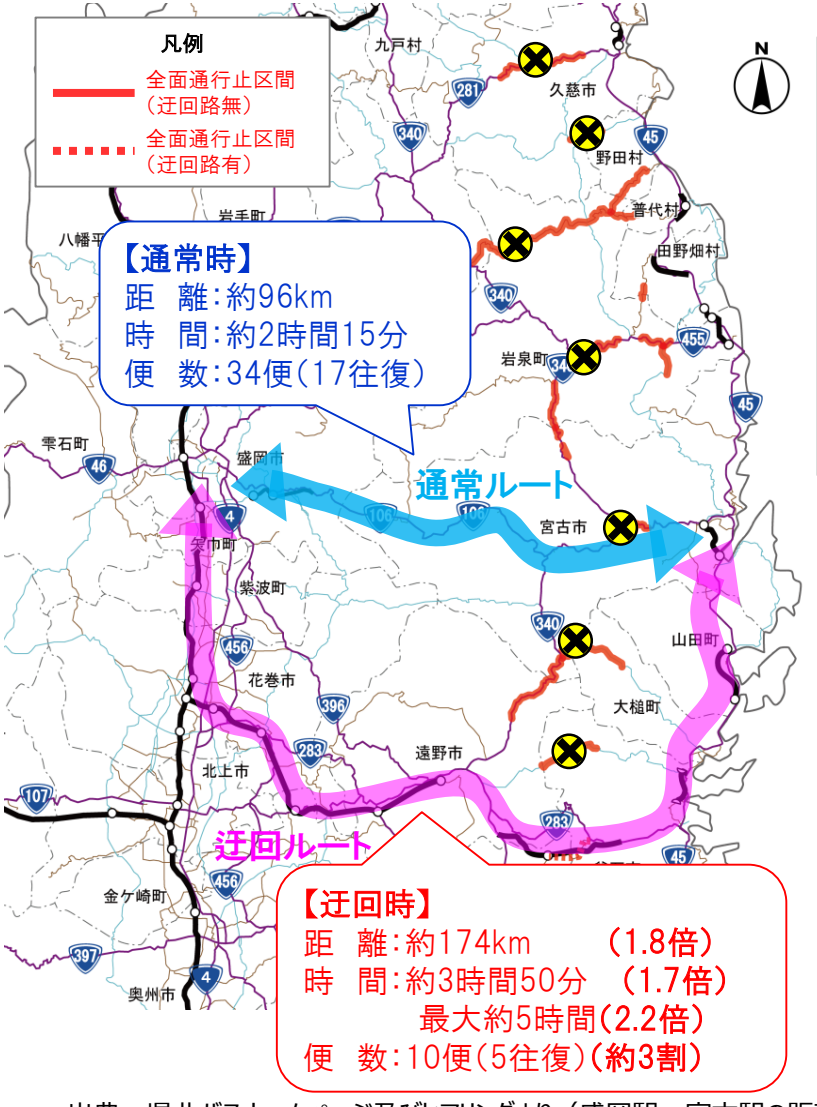


※交通量はトラフィックカウンターによる計測値（速報値）である
※平均値算定期間
【台風前】：平成28年8月23日(火)～平成28年8月29日(月)
【台風後】：平成28年8月31日(水)～平成28年9月6日(火)
※台風当日（30日(火)AM7:00～31日(水)AM7:00)の交通量は含めない。

国道106号通行止めに伴う社会的影響

◆迂回時は、交通集中により遠野住田ICを起点とした遠野市方向の渋滞や、釜石西ICを起点とした釜石市方向の渋滞が発生。
◆盛岡～宮古間の国道106号を運行する「106急行バス」は、8月31日に運休、9月1日～9月10日の間は、緊急措置として釜石・遠野回りの臨時ダイヤで運行。
◆迂回時は最大で通常の約2.2倍の時間を要し、物流や市民生活、三陸の観光に大きな影響が発生。

▼106急行バスの通常ルートと迂回ルート



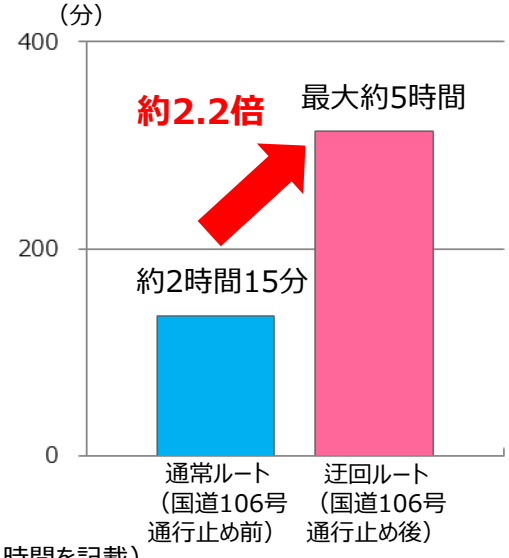
▼国道283号渋滞状況（仙人峠入口付近）



▼大渡橋南交差点(釜石市内)を左折する106急行バス



▼盛岡～宮古間の所要時間変化（106急行）



資料：岩手県北バスヒアリング結果

《地域住民の声》

◆宮古市小山田の女鹿舘（めがだて）さんは、二戸市の親族宅などへ行く際に106号を利用するが、通行止め後は釜石経由のバスを利用。「腰を痛めているので、長時間の移動は疲れてしまう。開通が待ち遠しい」と全線開通を喜んだ。
（9/10岩手日報25面）

◆106号寸断により、物流や市民生活、三陸の観光に大きな影響が出ていた。
（9/10朝日新聞27面）

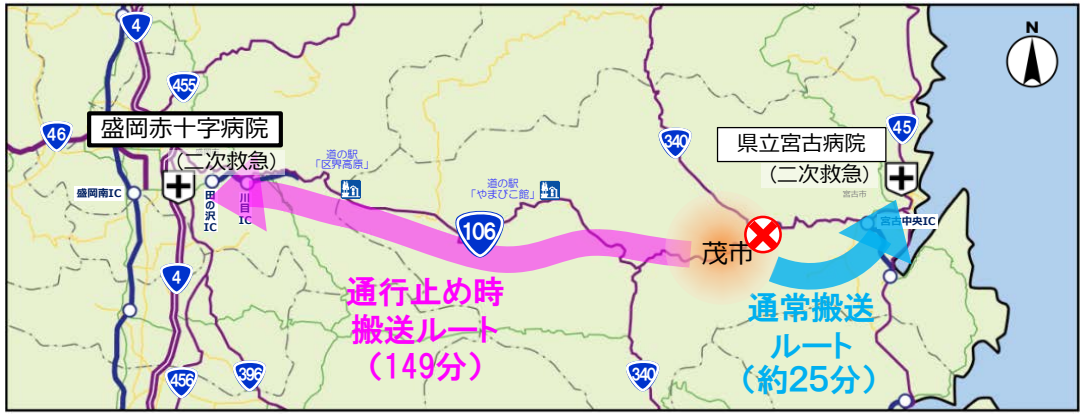
出典：県北バスホームページ及びヒアリングより（盛岡駅～宮古駅の距離・時間を記載）
出典：岩手県道路情報提供サービス（H28.9.5　10時時点　通行止め情報）

国道106号通行止めに伴う社会的影響

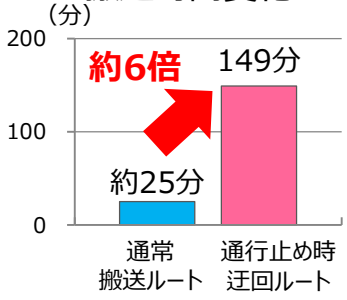
◆平成28年8月30日の台風10号の影響により、国道106号等が土砂崩れや道路損壊等の被害を受け、通行止めが発生
◆宮古～盛岡間の救急医療・産業等に大きな影響

【救急医療への影響の例】

▼国道106号の通行止め時の救急搬送状況（事例）



▼茂市から病院までの搬送時間変化



資料：宮古地区広域行政組合消防本部ヒアリング



《消防の声》

◆道路寸断の影響により、救急搬送にも影響が生じた。例えば、１０６号通行止めの影響を受けて、搬送先の変更になったことが、通行止め期間中に複数件あった。

◆9月4日に茂市から救急搬送した際は、通常約２５分で行ける宮古病院に運びたかったが、１０６号通行止めのため、盛岡赤十字病院に運ばなくてはいけなくなり、搬送に149分かかってしまった。一般に搬送時間が長くなることで、患者の傷病程度によっては様態が悪化してしまうこともある。

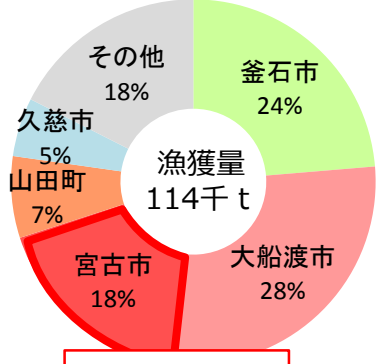
（H28.10宮古地区広域行政組合消防本部ヒアリング）

【産業への影響の例】

▼国道106号の通行止め時の迂回状況



▼岩手県内の市町村別漁獲量（H26）



資料：H26海面漁業生産統計調査（魚種別漁獲量）

《卸売市場の声》

◆盛岡中央卸売市場で取り扱っている水産物は、宮古田老方面が一番多く、宮古～盛岡間で主に4t車が10台/日往復している。

◆通常２時間でいけるところが釜石経由で最大６時間になってしまった。

◆県内へ安定して水産物を流通させる必要があるため、国道１０６号は水産輸送になくてはならない道路である。

（H28.9企業ヒアリング）